

# 昭和35年度集団操業形態改善事業報告

猿谷 倫，松村 健吉，箱石 賢二

## まえがき

昭和34年度に小集団中心船10隻が、当初の計画通りの器材が、完備されたので、各小集団間の漁況連絡を、強化するため、沿岸漁況連絡通信協議会を結成し、指導船「ときわ」の指導公報と相まつて、集団操業の推進をはかつた。なお「ときわ」を中心とした、実質的な集団操業は、昨年同様、計画したとおりには、できなかつたが、これに関係した各種の調査指導が行なわれ今後この事業を促進する上での、いくつかの問題点を解決することができた。事業実績を記述すると次のとおりである。

## 1 操業船の構成

### (1) 操業指導先達船

「ときわ」26.25馬270HP 茨城県水産試験場

### (2) 小集団中心船

「飛田丸」1.79馬 10HP 大洗町漁業研究会

「稲川丸」2.05馬 16HP 久慈丸小漁業研究会

「源次丸」2.27馬 10HP 大津漁業研究会

「くに丸」1.74馬 10HP 会瀬漁業研究会

「第光神丸」2.13馬 15HP 平瀧漁業研究会

「庄亥丸」1.59馬 9HP 川尻漁業研究会

「兄弟丸」1.05馬 10HP 久慈町漁業研究会

「仙丹丸」1.15馬 10HP 平磯漁業研究会

「大和丸」0.45馬 4HP 多賀町漁業研究会

「勝盛丸」0.88馬 5HP 那珂湊漁業研究会

## 2 操業状況

この報告は指導船ときわの指導調査操業状況と、各小集団中心船からの報告を要約して、月別に記録したものである。

4 月

上旬 3月に引き続き、沿岸の漁業は、中小型のサバを対象にした1本釣が主体で、磯崎沖の漁場を中心に平磯、那珂湊、大洗地区の各集団が出漁していた。ときわは主に、これらサバ漁業の魚群の、探索をおこなつた。

中旬から下旬に入つてからは、サバ漁場が次第に県北海域に移動し、この結果川尻、大津、平潟等の各船がよい漁獲をあげていた。この頃になつて、鹿島灘海域にイナダ、ワラサ群が探知され、曳釣流網が、始められるようになった。"ときわ"は海洋調査を兼ね、この海区で、漁場調査を実施し、これら魚群の動向について公報した。

5月 5月に入り海況の変化と相まつて、サバ群の来游が、顕著となり、沿岸全域で、この漁業が行なわれた。中心漁場は、磯崎沖、水深100m~120m線に形成され、この海区への集団出漁がみられた。県北海区の漁場も4月下旬に引続き盛況で、"ときわ"は主に、この海区の調査をおこない、この結果を各中心船に通報した。

イナダ流網は平磯沖で仙舟丸集団が出漁し、好漁していた。

6月 上旬100m以深の海区では、依然サバの漁があり、特に川尻沖、高戸沖がよい漁場であつた。"ときわ"は磯崎沖のイナダ漁場で曳釣による試験操業をこころみ、更にこの海区で、ブリ群の魚道を把握するための基礎調査を実施した。

中旬から下旬にかけて、各海区とも70m線以深で、メバルが探知された、又県北海区では、各地区集団ともイナダの曳釣に出漁し、よい成果を修めていた。

7月 漁況は沿岸全域で、イナダの流網曳釣の活況を呈し、光神丸、源次丸、仙舟丸、各集団ともよい漁をあげていた。

"ときわ"の調査並びに各中心船の、報告によると、主漁場は久慈地先より会瀬地先10<sup>m</sup>~30m線と、高戸沖から磯原沖で、形成された。源次丸の報告では、大津沖から菊田浦沖、並びに大洗地先から玉田沖で、シラスの漁がよく、各船平均1日70~80<sup>kg</sup>程度の水揚げがあつた。なお、浅海部では各地区とも、スズキ、雑魚等を対象に1本釣が小規模に行なわれていた。

8月 集団操業は、県北、菊田浦海区に形成されているイナダの漁場で、光神丸、源次丸、稲川丸の3集団が参加して、流網漁業が行なわれたが、おもわしくなく、各船10<sup>kg</sup>~20kg程度であつた。

全般的に漁況は低調で、一部スズキ延縄がよかつたが、他にみるものはなかつた。

9月 上旬、ナダカツオを対象にした、一本釣漁業の漁場について"ときわ"を中心に漁場探索並びに試験操業を四ツ倉から塩屋沖で3日間にわたつて、調査を実施した。この結果、今年度の漁業の見通しの明るいことが予想された。

又中旬から下旬にかけて"ときわ"を中心に、光神丸、源次丸の2集団による集団操業が実施された、下旬になつて庄亥丸、稲川丸集団も参加、カツオ、メジ1本釣で盛況だつた。なお、大洗地区では、この頃より樽流しの操業がはじめられた。

10月 ナダカツオの漁場は塩屋崎沖から大津沖(光神丸、源次丸集団)田尻浜沖から高戸沖(庄亥丸、稲川丸集団)銅山沖から磯崎沖(稲川丸、仙舟丸集団)水深100m~150m辺で、シイラ、サバまじりで好漁をあげていた。

"ときわ"は主に、これら漁場の先端を探索し、この結果を公報した。又大洗地区、飛田丸集団は、タコ樽流しで、よい漁をあげた。

下旬になつて、カツオ一本釣の漁が、少くなり、この結果各地区ともタコ漁に移行するようになった。

11月 前月までのカツオの漁場は、イナダの漁場になり、大津沖、久慈沖、玉田沖等で曳釣を中心にした操業が目立った。

これらの操業は県北の各地区集団が主体をなした。

タコ樽流しは、平磯、磯崎沖 水深20~40m線の漁場と玉田沖がよく、仙舟丸、飛田丸集団とも、よい漁をあげ、平均1日100<sup>Kg</sup>~150Kg程度の水揚があつた。

“ときわ”は上旬県北海区の1本釣の集団操業に参加、下旬になつて、那珂湊沖150m~200m線漁場フグ延縄の試験操業を行なつた。

12月 前月に比較し、イナダの漁況は次第におとろえたが、タコ樽流しの盛漁期を迎え、活況を呈した。  
“ときわ”は前月下旬に引続きフグ延縄の漁場探索を実施した。この公報にもとづいて、川尻地区、庄亥丸集団と平潟地区、光神丸集団が出漁したが低調であつた。

又、タイ1本釣もこの月に入つて、久慈地区を中心に盛況となつた。

1月 タコ樽流しは、川尻沖30~50m線、久慈~河原子沖30~50m線と磯崎沖から玉田沖で、各地区集団とも、出漁し、平均1隻1日40<sup>Kg</sup>~50Kgの漁をみていた。

タイ1本釣、延縄も、盛漁期を迎え、高戸~大津沖、久慈~河原子沖、久慈カガラ磯周辺で、漁場が形成され、平均1隻1日10<sup>Kg</sup>~20Kgの漁獲があり、最盛期には60<sup>Kg</sup>~70Kgの好漁がみられた。

“ときわ”はこれら各集団漁場の調査と同時に漁期前漁場調査を兼ねた、大吠崎沖のサバ漁場の共同調査に從事又県北海域でサバ一本釣の操業を行い、若干の漁獲をあげた。

2月 この月に入つて、サバの漁が目立ち、県北を中心にした各集団とも1隻平均100<sup>Kg</sup>~200Kgの水揚があつた。

タコは、前月末から次第に低調となつたが、それでも20<sup>Kg</sup>~30Kg程度の漁がみられた。又ブリ延縄は、この月に入つて少々盛況を呈し、川尻、庄亥丸集団を中心に平均200<sup>Kg</sup>~400Kgの漁がみられた。これらの漁場は、“ときわ”の探索により漸次沖合に移行した。なお前月活況を呈したタイの漁は次第に低調となつた。

3月 3月に入つていずれの漁も低調気味で、各地区集団とも目立なかつた。それでも大洗地区、平磯地区、久慈地区等では、サバを中心に操業が行なわれ、“ときわ”の調査報告と相まつて、好漁が続いた。

以上月別な操業状況である。

### 3 集団操業の成果と問題点

#### 成 果

まず漁民の生産意欲が向上し、従来の伝承的漁法から、科学化された操業形態に移行してきていることが、あげられる。

更に集団の成果は生産の向上のみでなく、人間同志の融和がたもたれその巾がより広くなり、この結果優秀な技術の普及が円滑におこなわれ、又各地区ごとにある独特の文化的な遺産が照会され、漁民生活によりうるおいをあたえることができた。

保守的な漁村にあつて、青壮年を中心とした集団グループの新しい考え方が、次第に取り入れられ、これが漁協の運営や地域市町村の行政にまで反映し、この事業推進の積極的な支援により助成がなされるようになってくるに従い、漁場環境要因の資料がより多く蒐集され、沿岸漁場の漁況と海況の相関々係を解析する上に役立つた。

#### 問題点

集団操業を促進する上で最も大切なことは、組織をどのようにして作るかにある。これには、漁民の自主的な誠意と、積極性更に指導力が必要であるのだが、現況の本県小型船漁業の実態は、必ずしも、これらの要素を十分に生み出すまでに致つていない。

こうした条件から形式的には、組織されたが、実行の段階で参加者が少なくなつたり、もしくは実施中離脱したりする小集団が多く、この事業を促進する上に大きな問題となつている。

次に重要な問題点は、集団の操業の中で、各船ごとの漁獲差が問題になる。

このことは、個人の技能の差によつて当然生まれるものでこれが良い方向に向けばよいが、一般的には、集団と云う、拘束から個人本位的な操業方式に向く傾向が強いものである。

又、小型船漁業は、漁業種類が多いことと同時に、個人の操業形態にも色々と、変化があり、個々に特色をもつているので、これが一つの漁業種に一定の期間集団で、出漁となると、色々と矛盾が現れるものである。

指導力の面については、まず指導先達船の現況の任務が多分野にわたつていて、この結果集団操業での指導が充分でないこと、又乗組員の対遇や、資格も必然的に指導力に影響していることが考えられる。

現在の無線機は、小型漁船に適當と思われるものがない。

簡易なものでよいから小型漁船を対象とした無線機を製作し全般に装備するようにすることも、集団操業を促進する上に大きな問題となるものである。

小集団中心船も、その仕事量の多い割に収入がみられないことも、これらの船の集団操業での、任務を消極化し、決定された連絡すら実施しない船もあるのが現況である。

以上いくつかの問題点をだしたが、これらのことが全く実行不可能なものではなく、むしろ客観的な各種の条件は漸次その方向に向つてきつつあるし、更に検討し、改善される部分も多くあるので、今後これらを積極的に取りあげ実行に移すことにより、高度な集団操業形態改善事業が実施されることを確信しこの報告をおわりたい。

(筆者 猿谷 倫)

(三) ときわ 集団操業並びに関連調査事業実施内容

実施月日	漁場	対象魚種	摘要	
4	2	磯崎沖	サバ	集団操業, 漁場探索
	3	"	"	"
	4	"	"	"
	5	"	"	"
	6	"	"	"
	7	"	"	"
	19	鹿島灘海区	イワシ, サバ	海洋調査, 漁場調査
	20	"	"	"
	21	"	"	"
5	9	久慈, 東海沖	イナダ, サバ	漁場調査, 海洋調査
	14	久慈沖	イワシ	"
	16	鹿島灘海区	イワシ, サバ	海洋調査
	17	"	"	"
	23	久慈沖, 磯崎沖	ブリ, イナダ	漁場調査, 集団操業
	27	大洗沖, 磯崎沖	イワシ, イナダ	漁場調査
	28	"	ブリ	"
6	1	銅山沖, 磯崎沖	サバ, ブリ, フラサ	" 集団操業
	3	"	"	"
	5	"	"	" 集団操業
	6	"	"	"
	7	磯崎沖	イワシ, イナダ	漁場調査
	8	銅山沖	ブリ, サバ	" 集団操業
	9	東海沖	イワシ, サバ	海洋調査
7	1	磯崎沖~大洗沖	ブリ, タイ	集団操業, 漁場調査
	2	"	"	"
	3	"	"	"
	5	大洗沖	シラス	漁業試験
	6	"	"	"
	7	磯崎沖, 大洗沖	イワシ	漁場調査
	8	銅山沖, 菊田浦沖	イナダ	集団操業
	9	"	"	"
	11	"	"	"
	14	高戸沖	イナダ, タイ, ブリ	漁場調査
	15	銅山沖~磯崎沖	"	" 集団操業
	16	"	"	"

実施月日		漁場	対象魚種	摘 要
7	17	銅山沖～磯崎沖	イナダ, タイ, プリ	漁場調査, 集団操業
	18	"	"	"
	19	"	"	"
	21	鹿島灘海域	イワシ, サバ	海洋調査
	22	"	"	"
	29	磯崎沖	ブリ, タイ	漁場調査
	30	"	"	"
8	1	東海沖		海洋調査
	2	高戸沖, 久慈沖	メジ, イナダ	漁場調査
	3	"	"	" 集団操業
	4	東海沖		海洋調査
	5	"		"
	6	"		"
	8	那珂湊沖	ア ジ	漁業試験
	13	大洗沖, 磯崎沖	サバ, イワシ	漁場調査
	15	"	"	"
	16	川尻沖, 銅山沖	タイ, プリ	漁場調査
	17	"	"	"
	27	鹿島灘	サバ, メジ	海洋調査
	28	"	"	"
	31	那珂湊沖	タ コ	集団操業漁場調査
9	1	磯崎, 大洗沖		海洋調査, 漁場測量
	2	"		"
	3	"		"
	4	"		"
	6	四ツ倉沖, 塩屋崎沖	ナダカツオ	集団操業, 漁場探索
	7	"	"	"
	8	"	"	"
	14	久慈沖～川尻沖	イナダ, ナダカツオ	漁場探索並びに測量
	15	"	"	"
	16	"	"	"
	17	"	"	"
	18	"	"	"
	19	"	"	"
	22	鹿島灘		海洋調査
	23	"		"
	26	塩屋沖～高戸沖	ナダカツオ, メジ	集団操業
	27	"	"	"

実施月日	漁場	対象魚種	摘要
9	28	塩屋沖～高戸沖	ナダカツオ, メジ 集団操業
	29	"	"
	30	"	"
10	1	"	" 海洋調査
	2	"	"
	3	"	"
	6	那珂湊沖	イワシ 漁場調査
	10	"	"
	17	菊田浦	ブリ 漁場調査
	18	"	"
	30	鹿島灘	海洋調査
	11	7	大津沖, 高戸沖
8		東海沖	海洋調査
10		那珂湊沖	ワラサ, メジ 集団操作
12		鹿島灘	海洋調査
14		"	"
21		那珂湊沖	ブリ, メジ 漁場探索漁業試験
22		"	"
29		塩屋崎沖, 仙台湾	イワシ, サバ 漁場探索海洋調査
30		"	"
12	1	"	"
	2	金華山沖, 仙台湾	"
	3	"	"
	4	"	"
	5	"	"
	7	原金沖, 大津沖	"
	8	原釜沖, 大津沖	"
	13	那珂湊沖	サンマ 漁業試験
	15	鹿島灘	海洋調査
	16	"	"
	18	東海沖	"
	19	"	"
	20	"	"
	21	銅山沖	フグ 漁期前漁場調査, 集団操業
22	"	"	
27	"	"	
1	6	大洗沖	海洋調査
	7	那珂湊沖	フグ 漁場調査

実施月日	漁場	対象魚種	摘要	
1	12	犬吠崎沖	サバ	漁場調査, 海洋調査
	13	"	"	"
	14	"	"	"
	15	"	"	"
	20	東海沖		海洋調査
	23	久慈沖	サバ, タイ, プリ	漁場調査, 集団操業
	24	"	"	"
	26	久慈沖～川尻沖	プリ, タイ	漁場測量, 調査
	27	"	"	"
	28	"	"	"
	29	"	"	"
	31	"	"	"
	2	1	"	"
2		大洗沖	タコ	集団操業
3		鹿島灘沖		海洋調査
8		川尻沖		漁場調査
9		那珂湊沖	イワシ	漁業試験
10		"	"	"
18		犬吠沖	サバ	漁場調査, 海洋調査
19		"	"	"
20		"	"	"
3	9	大洗沖, 玉田沖	"	漁場調査
	10	"	"	"
	13	那珂湊沖	"	漁場調査, 集団操業
	17	東海沖		海洋調査
	18	水木沖		漁場測量, 調査
	23	犬吠沖	サバ	漁場, 海洋調査
	25	"	"	"
	30	大洗沖		海洋調査

魚場図

